

特定漁港漁場整備事業計画書

1 目的

目的

(1) 地域の特徴

愛知県海域は内湾の伊勢湾、三河湾と遠州灘西部の渥美外海の三つの海域に大別される。このうち、三河湾は愛知県南東部に位置し、知多半島と渥美半島に囲まれた面積約 600km²、平均水深約 9m の非常に浅い湾であり、その湾口は伊勢湾、伊良湖水道を経て渥美外海に通じている。湾内には流入河川の河口域を中心に全国有数の干潟が形成されている。また、渥美外海は、渥美半島の陸岸に沿って水深約 130m 付近までは、ほぼ平行に水深を深め、底質は砂礫質であり、一部の天然礁を除いて、平坦かつ単調な海域となっている。

(2) 水産業の沿革と現状

伊勢・三河湾及び渥美外海を主たる漁場として、小型機船底びき網や船びき網をはじめとする様々な漁船漁業や海苔養殖、採貝漁業を営み、多様な水産物を水揚げしている。その中には、アサリ、ガザミ、クルマエビなど、全国有数の水揚げ高を誇る魚種も多い。

しかし、沿岸の大規模開発に伴う埋立等により干潟・浅場が消失し、水質浄化機能が低下したことによって赤潮や貧酸素水塊・苦潮が発生しており、漁場環境の悪化や漁業生産の低下等が問題となっていることから、水産資源は依然として厳しい状況が続いている。

(3) 漁場整備の沿革と役割

本県では、これまで漁業生産の安定を図るため、三河湾でアサリ漁場となる干潟・浅場造成を、渥美外海では魚を集めるための魚礁漁場を整備してきた。

干潟・浅場造成は、アサリ等二枚貝類の生息場を創出するだけでなく、多くの水産生物の産卵・育成の場も創出し、また、二枚貝類が有する水質浄化機能により漁場の環境改善も図っている。

魚礁漁場整備は、魚介類が蛸集、発生及び生育できる環境を創出することから、内湾域の干潟・浅場造成と合わせて、外海域で魚礁を設置して生息する場所を造成することで、内湾から外海まで海域全体で水産資源の増大を図っている。

(4) 当事業計画の目的

伊勢・三河湾では、アサリ資源の急減や貧酸素水塊等による漁場環境の悪化が問題となっており、干潟・浅場造成による漁場環境の改善が求められており、また、渥美外海では、魚介類が滞留する場が乏しく、それらが蛸集、発生及び生育できる環境の整備が求められている。

このことから、伊勢・三河湾において、干潟・浅場造成を実施することにより、アサリ等二枚貝類の資源増大、これによる二枚貝類が有する水質浄化機能の増大により漁場環境の改善を図るとともに、水産生物の産卵・育成の場を創出する。さらに、砂よりも粒径の大きい礫や砕石を活用することにより、地盤を安定化させることで、風波の影響を軽減させ、掘り起こし等を防ぎ、アサリ等の二枚貝類の生残を高める。

また、渥美外海において、魚礁漁場を整備することにより、トラフグ等の内湾から外海に移動する水産生物の生息場を造成するとともに、外海に生息する水産生物の産卵・育成場を造成する。

このように内湾と外海の整備を一体的に進めることで、内湾から外海まで海域全体で水産資源の増大を図る。

2 施行に係る区域及び工事に関する事項

(1) 区域に関する事項

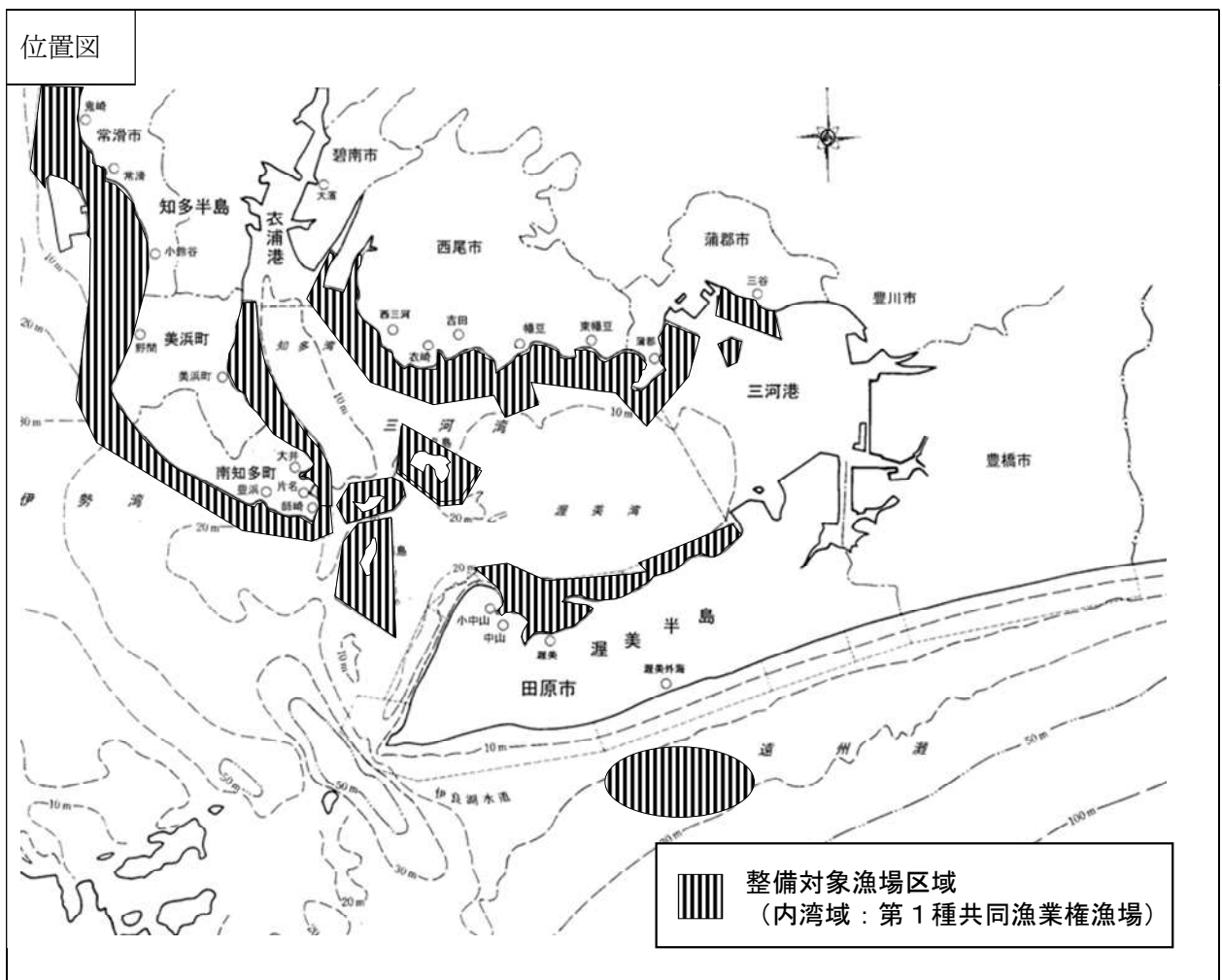
イ 区域名

区域名	伊勢湾・三河湾・渥美外海地区
-----	----------------

ロ 所在地等

都道府県名	愛知県	関係市町村名	常滑市、南知多町、美浜町、碧南市、西尾市、蒲郡市、田原市
地域指定	—		
整備対象漁港名	—	整備対象漁場名	伊勢湾、三河湾、渥美外海漁場

ハ 位置図



ニ 当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針

当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針

①現況、課題

本県の漁獲対象種の多くは、アサリ等の内湾域を生息域とする生活史、もしくは、トラフグ等の内湾域で幼稚仔期を過ごして成長とともに湾口部や外海域に移動する生活史を持っている。しかし、内湾域では過去の開発により干潟・浅場が消失し、水質浄化機能が低下したことによって赤潮や貧酸素水塊・苦潮が発生し、漁場環境の悪化や漁業生産の低下等が問題となっている。また、近年では秋期から冬期にかけての風波等の影響により稚貝が散逸・流出することが確認されている。また、ツメタガイ・ヒトデ・カイヤドリウミグモなどの害敵生物の発生などに加え、海域の栄養塩類の減少による餌不足の影響も確認されている。これらが重要魚種であるアサリ等の二枚貝の資源に影響を与えており、本県のアサリは、2010年頃は2万トン近い漁獲量があり、全国シェアも5割を超えていたが、ここ数年減少傾向が著しく、全盛期の1～2割程度にとどまっており、海域全体の生産力向上のための干潟・浅場造成、増殖場の整備による生息環境の創出及び水質浄化機能向上による漁場環境改善が求められている。

また、渥美外海では漁船漁業が営まれているが、魚類が滞留する場が乏しく、漁場は点在する天然礁及び既設の魚礁周辺に限られていることから、内湾で生育したトラフグやスズキ、近年資源量が増加しているマダイ、ヒラメ等が蛸集、発生及び生育できる環境の整備が求められている。

②整備方針

海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保
・藻場・干潟などの保全・創造

伊勢・三河湾において、干潟・浅場造成を実施することによって、アサリ等二枚貝類の資源増大、これによる二枚貝類が有する水質浄化機能の増大により漁場環境の改善を図るとともに、水産生物の産卵・育成の場を創出する。さらに、砂よりも粒径の大きい礫や碎石を活用することにより、地盤を安定化させることで、風波の影響を軽減させ、掘り起こし等を防ぎ、アサリ等の二枚貝類の生残を高める。

また、渥美外海において、魚礁漁場を整備することによって、トラフグ等の内湾から外海に移動する水産生物の生息場を造成するとともに、外海に生息する水産生物の産卵・育成場を造成する。

このように内湾と外海の整備を一体的に進めることで、内湾から外海まで海域全体で水産資源の増大を図る。

ホ 整備対象漁港及び整備対象漁場の現況及び将来見通し

(現況)

(令和3年3月31日現在)

整備対象 漁場全体	受益戸数(受益者数) 1,924戸	登録漁船隻数 漁港名又は港湾名 総数 3,837隻
--------------	----------------------	---------------------------------

(将来見通し)

(目標年:令和12年)

整備対象 漁場全体	受益戸数(受益者数) 1,237戸	登録漁船隻数 漁港名又は港湾名 総数 2,007隻
将来見通しの考え方		
<p>【受益戸数】 漁業センサスの経営体数の数値を使用し、平成20年から平成30年のデータに基づいて検討した結果、減少傾向であった。今後も同様の傾向で推移するものとし、回帰分析の推定値を採用した。</p> <p>【登録漁船隻数】 港勢調査の数値を使用し、平成23年から令和2年のデータに基づいて検討したところ、減少傾向にあった。今後も同様の傾向で推移するものとし、回帰分析の推定値を採用した。</p>		

(2) 工事に関する事項

イ 主要施設の種類、規模及び配置等

(漁場の施設等)

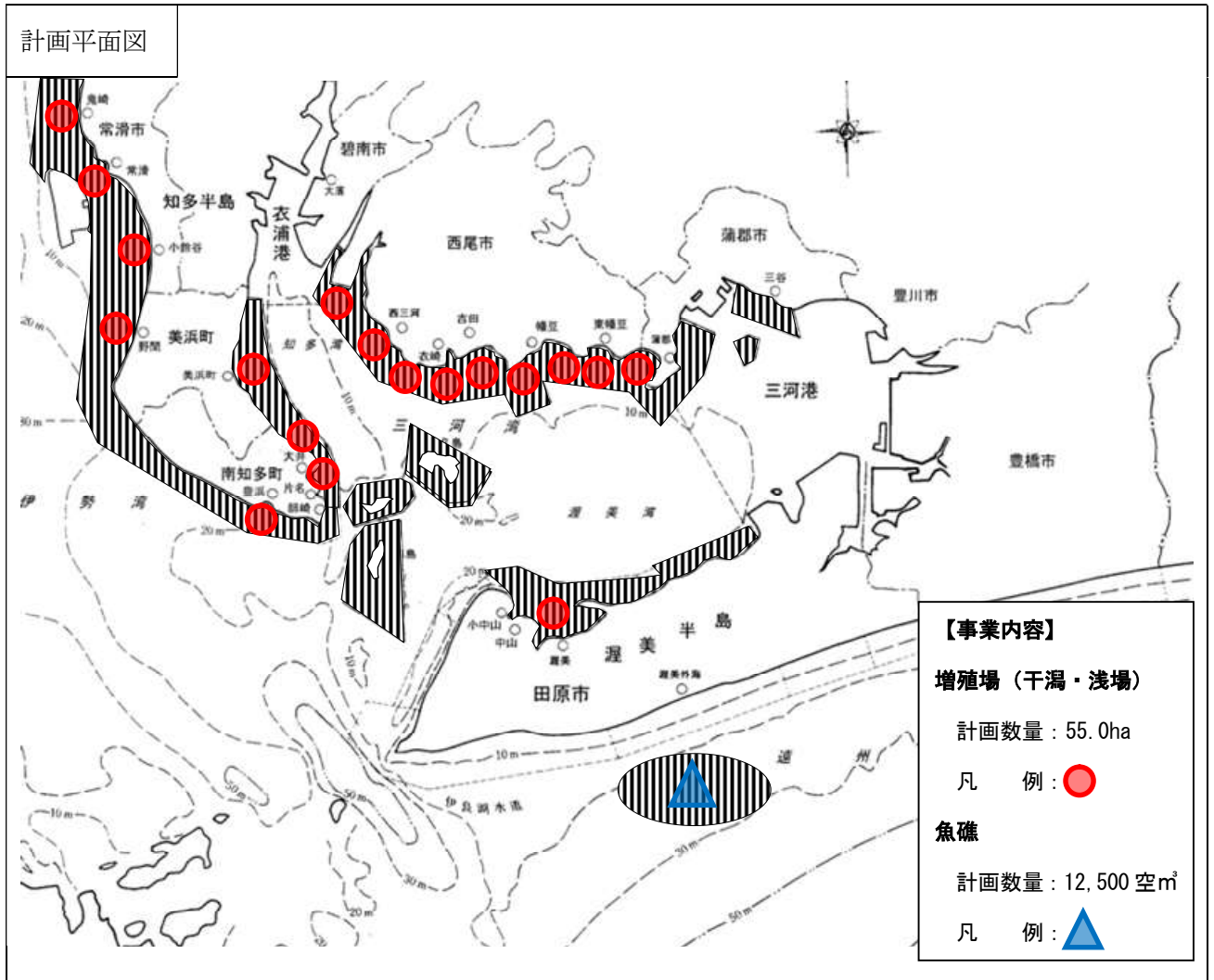
都道府県名	整備対象漁場名	所管	事業主体名	関係市町村名	対象生物
愛知県	伊勢湾 三河湾	本土	愛知県	常滑市、南知多町、 美浜町、西尾市、蒲 郡市、田原市	アサリ、トラフグ、 スズキ
計画施設等	計画工事 種目	単位	計画数量		備考
増殖場	干潟・浅場	h a	55.0		

都道府県名	漁場名	所管	事業主体名	関係市町村名	対象生物
愛知県	渥美外海	本土	愛知県	常滑市、南知多町、 美浜町、碧南市、西 尾市、蒲郡市、田原 市	マダイ、スズキ、マア ジ、トラフグ、ヒラメ
計画施設等	計画工事 種目	単位	計画数量		備考
魚礁	魚礁	空m ³	12,500		

ロ 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定年度	令和 4 年度	完了予定年度	令和 8 年度
--------	---------	--------	---------

ハ 計画平面図



3 事業費に関する事項

計画事業費	2,790 百万円
-------	-----------

4 効果に関する事項

1. 主要な水産施策別の事業効果	
<p>(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果 伊勢・三河湾では干潟・浅場造成によりアサリ等有用二枚貝類の資源増大を、渥美外海では魚礁整備により外海性魚類の生息場の確保や蛸集・滞留等を図ることで海域全体の水産資源を増大させ、漁獲量の増加を実現する。</p> <p>(2) 地域産業の活性化 各種整備による生産量の増加により、漁業振興に加えて産地から消費地市場までの出荷過程の間に水産物流通業の振興にも寄与する付加価値が発生する。</p> <p>(3) 自然環境保全・修復効果 干潟・浅場造成によりアサリ資源量が増加し、アサリがもつ水質浄化機能により COD が減少する。</p>	
2. 地域に与える影響	
<p>干潟・浅場は一般県民の海への入り口となる親水の間であり、潮干狩り等の海洋性レクリエーション活動等にも利用される。また、都市と漁村の交流促進に重要な場にもなっている。</p> <p>干潟・浅場を造成することで、海洋性レクリエーション活動の間を一般県民へ提供することができる。</p>	
3. 費用対効果分析結果	
社会的割引率：4.0%	投資期間：令和4年～8年
現在価値化の基準年度：令和3年	施設の耐用年数 増殖場（干潟・浅場）：10年 魚 礁：30年
貨幣化による分析結果	
貨幣化した効果項目	(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果 (2) 地域産業の活性化 (3) 自然環境保全・修復効果
総便益額B	3,418 百万円
総費用額C	2,229 百万円

費用便益比率(B/C)	1.53
備考	純現在価値(B-C) : 1,189 百万円
	内部収益率(IRR) : 13.3%
4. 事業の定量的・定性的効果（貨幣化が困難な効果）	
干潟・浅場におけるトラフグ等の幼稚仔魚の育成場としての効果	

5 環境との調和に関する事項

環境との調和に関する事項	
<p>伊勢・三河湾では古くから多種多様な沿岸漁業が営まれてきている。しかし、埋立による干潟の消失や、近年では海域の栄養塩類の低下が指摘されており、底生生物の多様性にも影響を与えている。</p> <p>干潟・浅場を造成することにより、アサリ等の底生生物の生息場の供給ひいては漁場生産力の向上及び水質・底質環境が改善され、持続的な漁業生産の確保が図られる。</p>	

6 他の水産業に関する施設との関係に関する事項

施設名	施設規模・内容	本事業との関係	備考
水産物荷さばき施設	鉄骨造り2階建て 延べ 5,546 m ² 1棟	造成漁場での漁獲物の 流通施設	平成17年度、一色漁港 西三河漁業協同組合 873,572千円 漁業近代化施設整備事業
製氷施設	鉄骨造3階建て 製氷 53t/日 貯氷 300t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	平成26・27年度、豊浜漁港 豊浜漁業協同組合 642,900千円 産地水産業強化支援事業
製氷施設	RC造2階建て 製氷 49.5t/日 貯氷 300t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	平成28・29年度、師崎漁港 師崎漁業協同組合 672,800千円 水産業競争力強化緊急施設整備 事業
冷凍施設	鉄骨平屋建て 延べ 189 m ² 1棟 冷凍機 15kW	造成漁場での漁獲物の 冷凍保存	平成30年度、日間賀漁港 日間賀島漁業協同組合 39,550千円 水産業強化対策整備事業
製氷施設	鉄骨造3階建て 製氷 10t/日 貯氷 20t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	令和元・2年度、形原漁港 蒲郡漁業協同組合 134,710千円 水産業強化対策整備事業
製氷施設	鉄骨造2階建て 製氷 20t/日 貯氷 45t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	令和2・3年度、日間賀漁港 日間賀島漁業協同組合 379,915千円 水産業強化対策整備事業
製氷施設	鉄筋鉄骨造3階建て 製氷 40t/日 貯氷 225t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	令和2・3年度、大濱漁港 大濱漁業協同組合 634,947千円 水産業強化対策整備事業
製氷施設	鉄骨造2階建て 製氷 40t/日 貯氷 200t	造成漁場での漁獲物の 鮮度保持	令和3・4年度、篠島漁港 篠島漁業協同組合 638,140千円 水産業強化対策整備事業